

**保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）**

公表日:令和5年2月1日

集計期間:令和4年8月15日～9月16日

事業所名:渋谷区障害者福祉センターはあとびあ原宿(児童発達支援)

保護者等数(児童数) 回収数26 回収率58%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	4			・今は人数が少なくゆったりしている。 ・昨年のクラスが少人数だったので人数が増えて最初の頃はなれなかった。 ・長期休暇で遊戯室が使えなかった時は教室ですと過ごすので狭く感じた。	・コロナ禍で遊戯室、保育室の使い方を変更したが、徐々に戻していている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	3			・もう少し職員が活動時に多く入ってくるとより望ましいがとても熱心に行っているため不満はない。 ・わが子の障がいにて特化した知識や経験が十分ではないのではないかと感じることもある。	多様な障がい特性に対応できるように、職員研修やケース会議を充実させる。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25			1	・いすや机等、本にに合わせて設定してもらい感謝している。 ・知的障がい重度の子どもにはわかりづらいと感ずることがある。	環境設定、構造化についてどのような形がわかりやすいかを再検討する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	24			2	・就学を見据えて必要な課題と一緒に考えてもらっている ・子どもに合わせた、とても実践的な計画を作っていた感謝している。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24			2		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26				・PTの個別指導では特に子供の発達にあったものを提供してもらっている。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	4		1	・夏には毎回プールに入れてもらい感謝。 ・様々なプログラムがあると感じる。ポニー、プール、ミュージックセラピーは是非たくさんしてほしい。 ・比較的毎回、似たようなプログラムに感じている。 ・あえて固定化していると聞いたことがある。 ・グループの活動は個々に合った支援なのかと疑問に感じることがある。	・様々な活動を経験してもらい、同じ活動を繰り返し体験し自信を持って行動する、など目標を明確にして活動を提供する。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	4	7	9	・コロナ禍のため機会はない。	ほとんどの利用者が園との並行利用であり、またコロナも影響ある。地域との交流の形は検討していきたい。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	1				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	24	2			・支援開始後に説明があった。説明を受けるまで少し不安があった。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9	4	2	11	・こちらから働きかけなければ積極的、具体的な支援が受けられないように感じられることがある。	今年度はペアトレの実施が不十分であった。次年度の課題とする。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	2			・細かく様子を伝えてもらっているため発達状況や課題の共通理解ができていると感じる。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	2		2	・保育園での過ごし方を見てもらいたい。 ・個別指導の時に具体的にアドバイスを聞くことができる ・希望するときにちゃんと面談を設定してくれるので安心感がある。細かい相談もしやすい。	・感染対策をしながら園への訪問も積極的に行いたい。

**保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）**

公表日: 令和5年2月1日

集計期間: 令和4年8月15日～9月16日

事業所名: 渋谷区障害者福祉センターはあとびあ原宿(児童発達支援)

保護者等数(児童数) 回収数26 回収率58%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	3	2	4	・保護者同士が情報交換できる場があるとありがたい。 ・ためになる活動が多く助かっている。 ・9月に参加する予定 ・まだコロナもあり開催期が来ないのでわからない。 ・父親の会、ありがとうございました。 ・機会はあるが参加できていない。 ・コロナ禍の影響で仕方ないのかなと思う。	保護者同士の連携、情報交換はコロナのまん延以前に戻つつある。年間の回数や内容を広げて行く。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	2		4	・現状、特に申し入れはしていない。 ・いつも相談に応じていただき感謝の気持ちでいっぱいです。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1		1	・連絡帳がオンライン化されると利便性が上がると思う。	今後の検討課題
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19	1	2	4	・「はあとびあ通信」のような活動報告のペースがもう少し多いと嬉しい。 ・ホームページなどをもう少し充実させてほしいと感じる。	活動内容の発信については今後力を入れていきたい
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	24			2		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	17	3		6	・感染対策は普段からとられているが他は利用期間が短くてわからない。	保護者へのマニュアルの周知は不十分である。利用開始時に周知する。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	2		6		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	21	2	1	2	・毎回、施設につくと笑顔になる。 ・4カ月目に入り施設につくと笑顔になっている。楽しみにしていると感じた。 ・いつも朝から「キッズいくー」と楽しみにしている。 ・単独登園になっても変わらず「はあとびあに行きたい」と毎朝言っている。本当によくしていただいているのだと思う。 ・週1回短時間なのであまり慣れず楽しみな様子はない。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	25	1			・とても満足している。 ・とても満足している。場所もそうだが、熱心であたためられる職員さんにとっても救われている。 ・土日の通所や希望回数通所できるようになるとより満足です。 ・一般的な支援は十分だと思うが子どもの障がいに特化したきめ細かい支援は十分に受けられていないように思う	就労家庭が増えている中、サービスの提供方法などについて検討していく。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。